

国際スポーツ大会の開催や事前キャンプ 誘致に対する支援等について

九州・山口地域においては、福岡県、熊本県、大分県で開催されるラグビーワールドカップ2019や熊本県での2019女子ハンドボール世界選手権大会等が相次いで開催される。また、2020年には、世界最大のスポーツ・文化の祭典である東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、全国的にも国際スポーツ大会を契機とした景気浮揚などが見込まれている。さらに、翌年には、福岡県で第19回国際水泳連盟世界選手権が開催されるなど、スポーツへの関心がますます高まり、九州・山口各県の観光振興の大きなチャンスになることが期待され、機運醸成や誘客促進等の取組を進めているところである。

国際スポーツ大会の開催や事前キャンプの受入れは、国内外からの誘客を通じて、多くの人々に対して、九州・山口各県の豊かな自然や歴史・文化、食などを発信できるとともに、国際交流の活性化や交流人口の拡大が促進されることから、地方創生に大きな役割を果たすものと期待される。

国においては、これらの取組が地方創生をより一層推進し、九州・山口各県が平成28年熊本地震や平成29年7月九州北部豪雨、台風第18号から力強く復興する姿を国内外にアピールする絶好の機会になることも踏まえ、以下の項目について適切な措置を講ずるよう強く求める。

1 国際スポーツ大会の機運醸成と誘客促進、競技普及の促進

国際スポーツ大会の効果を最大化するため、国を挙げて、大会の機運醸成を図るとともに、国内外への観光情報の発信や誘客対策等について支援すること。

また、競技普及に向けた取組について支援を行うとともに、大会後もそのレガシーが国内外に広がるよう、継続的な支援を講ずること。

2 施設整備、事前キャンプ誘致等への支援

ラグビーW杯や2019女子ハンドボール世界選手権大会、第19回国際水泳連盟世界選手権等、九州・山口地域における国際スポーツ大会の開催に向けた施設整備や改修、事前キャンプの誘致に関する取組等を積極的に支援すること。

3 訪日外国人旅行者の受入れ環境の充実

訪日外国人旅行者の増加に向けて、入国審査の迅速化、標識の多言語化等、受入環境の整備や観光の魅力向上に向けた取組を一層充実・強化すること。

平成29年11月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞